

これからの保育 子どもの育ちのために 市は役割をはたそう

田村 智恵美

2012年8月、市は市立保育所を民間に移管する方針を示し、そのための「民間活力導入におけるガイドライン(案)」を作成しました。市立保育所の役割や地域子育て支援のあり方全体を検討するために、保育検討協議会も設置されました。今後大きく変わる保育行政のあり方について一般質問しました。

民営化の目的について市は、「体制の再構築、施設管理の効率化等」としましたが、公立の担ってきた保育の役割については、15か所の市立保育所がもつ組織力や保育実践力を活用して、社会的責任と子育て支援の一翼を担い、市内保育施設全体の牽引役として指導等を行ってきたといえます。また、子育て親子の交流や相談など、地域における子育て支援事業も実施してきました。障がい児保育も重要な事業です。このような大切な役割を今後いくつかの市立保育所が民営化することによって、どの

ように継続していくのかが大きな課題となります。

ますます求められる公立の役割

子育てをしながら仕事をするには、保育施設の充実が欠かせません。女性は出産・育児を契機に退職する人もいますが、景気の低迷の影響から、雇用や賃金も不安定で、仕事を継続する人が増えています。当然保育施設の必要性は高まり、これは常に待機児が解消されないことにもあらわれています。また、子育ての孤立感や負担感が、虐待の一因となるという指摘もあり、一人で抱え込まないような地域での子育て支援も大変重要になってきています。



このような社会状況を受けて、国は2012年9月に、未就学児の保育、教育のあり方を示した「子ども・子育て関連3法」を制定しました。各自治体では地域のニーズに基づいた計画を作成することになります。府中市では2013年度

から、調査研究・ニーズ調査を行なう予定としています。

この関連3法の制定により、保育形態が多様に拡がり、小規模保育の認可も市が対応することになり、公が担う役割は大きくなります。

民営化の方向性は、保育検討協議会の議論を経て、今年3月に、「ガイドライン」が正式に示される予定です。今回の質問では、公立保育所をいくつ残し、どのような役割を維持していくのか、明確な回答は得られませんでした。市民の不安を少しでも減らすため、市は今後の方針を明らかにする必要があります。

保育は毎日毎日子どもたちの成長を保護者の代わりに見守るといふ重要な役割であり、主役が子どもたちであることを忘れてはいけません。子どもにとって一番良い方法を考えて、保育事業の質と量を、後退させることなく事業を進めていくことを求めました。

「学校給食センター」用地について

候補にあがっていた朝日町の都市地の一部(1.3ha)を「府中市学校給食センター」用地にすることについて、都と周辺市での合意がなされ、市は土地取得を進めるとしています。生活者ネットワークはこれまで1か所集中型の大規模(2万2千食!)な学校給食センター化には反対しており、食育の観点からも問題があると指摘しました。

「自然エネルギー社会をめざす 都市宣言」を求める陳情

15320人の市民の署名とともに提出されたこの陳情は、建設環境委員会で審議されました。傍聴席には30人ほどの市民が詰めかけ、関心の高さが表れていました。陳情の趣旨は、「子どもたちや未来に生きるもの全ての視点に立ち、人間生活の基礎であるエネルギーのあり方に思いを馳せ、原発の廃炉をめざし、さまざまな工夫を重ねて、自然エネルギー社会の建設に転換することをめざして、府中市として、都市宣言をして欲しい」というものです。

陳情の中には「自然エネルギー社会への道のりは容易ではないが、市民の間の対話を大切に」という趣旨も表明されており、生活者ネットワークは、時間がかかっても、自然エネルギーへの転換について、広く市民の理解を深める姿勢がいま大切だと、この陳情を採択することを主張しました。

委員会では、自然エネルギー社会をめざすことに異論はないが、国の政策が選挙次第で流動的であることや、地球温暖化や省エネ対策など総合的な観点が必要だ、結論を避ける意見が出され、審議の結果、この陳情は「継続」となり、次の3月議会で、再度審議されることになりました。

※委員会は傍聴できます。ぜひお出かけください。

「携帯基地局」の増加に対し、

市は事業者に課与できないか

携帯電話は基地局（アンテナ）と端末の間で常に、高周波の電磁波を出して発信しています。ここ数年で、保有台数も機種も急増し、子どもたちにも広まっています。電磁波の体への影響については警告を発する研究も

ありますが、日本では「科学的に立証されていない」と国も認めておらず、携帯基地局を設置するのに、事業者は市への届け出も近隣住民への説明も義務付けられていません。どこに設置されているかも市は把握していません。

国が規制をかけない以上、市が独自に事業者へ設置の届け出や位置の情報の公開を求めたいと訴えましたが「検討する」という答えでした。質問で、市の公共施設の3か所に携帯やPHSの基地局が設置されていることもわかりました。今後、市民への情報公開と規制を行なうことを求めました。

太陽光発電事業の普及のために

市は独自の施策をすすめるよう

府中市は、あくまでCO2削減対策として個人住宅への「エコハウス設備設置補助金」助成や、小・中学校の改築時には太陽光発電設備をつくってききましたが、市の財政に頼るだけでは限界があります。

原発事故を教訓にして、放射能の汚染をもたらす原発の電気に頼らない生活への転換が

求められています。市民が出資や運営を行なう「市民の発電事業」を起こす動きも盛んになり、そこに協力する自治体も出てきています。府中市も、公共施設の屋根を、市民が設立した太陽光発電事業者に貸し出すなどの協力をすることで、市民との「協働」を進める意向がないか、質問しました。

持続可能な社会づくりのために「太陽光発電」普及の重要性は認められたものの、市民事業との協働は課題が多いという答弁でした。大規模災害時にも地域の発電施設は利用できます。市民協働の地域づくりとして、この事業を進めてほしいと訴えました。



浅田多津子 一般質問

男女共同参画のまちづくりを進め、

災害時の体制の充実を

生活者ネットワークはこれまでも災害時の女性支援について質問を行なってきましたが、昨年10月に参加した第29回日本女性会議では東日本大震災の時の女性の不利益の拡大や、復興に向けての力の軽視、意思決定過程での女性の排除などが報告されました。例えば避難所での女性や子どもに配慮した仕切りやトイレ、物干し場などがなく、家族の介護や炊き出しは女性が担うことなどです。一方で地震の5日後、国は避難所等で女性や子育てに配慮するよう通達をだしましたが、その後

の調査でも現場では実行されていないことがわかりました。日常的に男女共同参画が進んでいないことがその背景にあります。現在府中市も地域防災計画の見直しを行なっていますが、日常的な男女共同参画をどう進めていくのか質問をしました。

市は災害時に女性に対する支援や配慮が必要であることは認識しているとのことでしたので、①市の防災会議メンバーに現在の女性1名から市の基準である30%以上に増やすこと、②災害時に女性センターを活用できるような計画をつくること、③自主防災組織等の研修に男女共同参画の視点を日頃から取り入れることなどを強く求めました。

田村智恵美 一般質問

障がい者の就労、雇用の機会を拡大しよう

2012年6月に、障がい者就労施設等の受注機会の増大、障がい者の雇用の拡大や工賃の向上を目指して「障害者優先調達推進法」が公布され、2013年4月に施行となります。これによって、障がい者の自立生活や共生

社会の実現に一步近づくのではないかと期待されます。この法律をつけ、自治体は具体的な「調達計画」を作ることになっているため、府中市での取り組み予定を聞きましたが、まだ何も決められないとのことでした。

障がいがあっても自立をめざして就労を希望する人が増えています。それには企業、事業者、公共団体などの理解がすすむことが不可欠で、特に行政が率先してその受け皿となることに意義があります。就労の場の確保、職場定着支援など、継続的な支援体制の充実とともに、市役所内での仕事を広く委託するために、全庁的な業務内容の洗い出しをし、すでに地域にある障がい者の作業所のネットワークを有効に活用することを求めました。

◆編集後記◆

石原前知事の突然の辞任により行われた昨年末の都知事選。「脱原発」「住民参加型の都政の実現」を期待し、動きもしたが、私たちのメッセージは届かなかった。

今年はいろいろな場面で集まり、対話し、行動する年に！！！！

人フオメーション

わくわく まちづくりトーク

■市庁舎、再開発、給食センターなど新たな施設建設の課題を中心に、これからのまちづくりについて話し合います

- 1月21日(月) 14:30~ 片町文化センター第2会議室
- 1月23日(水) 14:00~ 白系台文化センター第2会議室
- 1月27日(日) 10:00~ 中央文化センター第4会議室

わくわくサロン

1月25日(金) 14:00~ 府中ネット事務所

生活者ネットワーク福祉部会では毎月1回子育て、介護、なんでも相談、おしゃべりをする会を開いています。お気軽にご参加ください。

新春講演会

「今、福島でおこっていること」

1月19日(土) 14:00~16:00

講師 武藤類子さん(福島原発告訴団団長) ルミエール府中 第1・第2会議室

問い合わせ 府中・生活者ネットワーク 042-360-4443